

# 「学ぶことは 生きること」 私たちの大切な学びの場である 夜間中学校をつぶさないでください！

私たち夜間中学生は戦争や植民地支配、社会や学校教育の抱えるさまざまな厳しい現実や矛盾などで、学齢期に義務教育を受ける権利を奪われました。そして、今、ようやくたどり着いた夜間中学校で学んでいます。

また、海外から来た外国人生徒も同じで、日本語を学び、基礎的な内容を学びなおし、日本や母国の文化や生活習慣を知り、社会で生きていく力をつけています。学びを必要とする人たちにとって、なくてはならない学校です。

今では、国や文部科学省もその意義や必要性を認め、全国各地に夜間中学校を設置することを推進しています。また、2016年12月には、国会で「教育機会確保法」が作られ、毎年、全国各地に新たな夜間中学校が開校されています。

現在、全国の夜間中学校は12都府県／36校となりましたが、まだまだ十分どころか、まったく足りていません。

このような時代のなかで、大阪市では、2024年4月に新たに夜間中学校を1校開校するけれども、同時に現在ある天王寺夜間中学校と文の里夜間中学校の2校を廃校にする計画があると聞きました。私たちは大きなショックを受け、何も言葉が出ませんでした。やっとたどり着いた夜間中学校で、ようやく学ぶことができるようになったのに、今、通っている夜間中学校で学ぶことができなくなるのかと思うと、とてもくやしいです。毎日が不安で落ちつきません。天王寺夜間も文の里夜間も、約50年もの歴史があり、仲間とつながり、ともに学び、誇りをもち卒業したみなさんもたくさんいます。なぜ、別の場所に1校つくことで、今も学び続けている生徒がいる夜間中学校が2校もつぶされるのか、まったくわかりません。

市内に新しく夜間中学校を1校つくり、現在ある4校のうち2校の夜間中学校をつぶすことになれば、大阪府は、4校から3校へと減らすこととなります。そうではなく、4校から5校へと増やし、全国のなかで夜間中学校設置をさらに進めていく、積極的に先進的な都市になってください。

夜間中学校を減らすことは、今、天王寺夜間や文の里夜間で学んでいる生徒はもちろんのこと、これからその学校を必要とする人たち、入学を希望する人たちからも、未来につながる大切な学びの場である夜間中学校を奪うことになっていきます。私たちは、そのようなことをとうてい納得も理解もできません。さまざまな厳しい現実や矛盾などのなかで「学齢期に学ぶ権利」を奪われてきた私たちが、今も、そしてこれからも、不安なく、安心して夜間中学校で仲間たちと一緒に学ぶことができるよう強く訴えます。

1. 学ぶ生徒や学びたい生徒がいる天王寺夜間と文の里夜間の2校を絶対につぶさないでください。
2. 私たち夜間中学生や卒業生の思いや願いをしっかりと聞いて受けとめてください。

2021年11月17日

近畿夜間中学校生徒会連合会 会長 門脇 勝

天王寺夜間中学校同窓会役員一同

名前	住所